

# 早島町

町制施行130周年記念誌

夢紡ぎ 未来織りなす 早島町



きらめく流れ、ふるさと紡ぐ未来図

130<sup>th</sup>  
HAYASHIMA

早島町 130周年

# ごあいさつ

早島町は明治29年2月26日に誕生して以来、130年の長きに渡り、単独町制の歩みを進めてきました。その背景には、先人の皆さまの並々ならぬ努力があります。町制施行130周年の記念すべき年を、皆さまと迎えられることを大変うれしく思うとともに、これまでの町制へのご尽力とご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

早島町は古くから交通の結節点として、人と物が行き交う場所として栄えてきました。町制施行130周年の節目となる今年、JR早島駅がバリアフリー化され、駅と一体となった新たな施設も誕生します。

新たな時代においても、これまで培ってきた土壌をさらに発展させ、第5次総合計画に掲げる基本理念「安全・安心に暮らせ 豊かさと幸せが実感できるまち」のとおり、暮らしの中で幸せを実感できる町であり続けますよう、これからも皆さまとともに、次世代に町の歩みをつないでいきたいと思っております。



早島町長 佐藤 博文

## HAYASHIMA INFORMATION



早島町は、岡山県南地域のほぼ中央に位置し、まちの中央を国道2号が東西に走っており、瀬戸中央自動車道と山陽自動車道を結ぶ早島インターチェンジが、国道2号と連結しています。東西3.53km、南北4.18km、面積は7.62㎢と岡山県で一番小さな町です。

### 人口

**12,743** 人

2026年1月1日現在  
住民基本台帳

[ 明治29年:4,193人 ]

### 世帯数

**5,371** 世帯

2026年1月1日現在  
住民基本台帳

[ 明治29年:1,008世帯 ]

### 人口密度

**1,672** 人 / ㎢

### 町章



### 町の木 カイツカイブキ



### 町の花 サツキ



### 岡山県内唯一の 自立持続可能性自治体

民間有識者で構成される「人口戦略会議」が2024年4月に公表した「地方自治体『持続可能性』分析レポート」において、早島町は岡山県内で唯一自立持続可能性自治体となりました。



まちの  
詳しい情報は  
こちらから



早島町HP



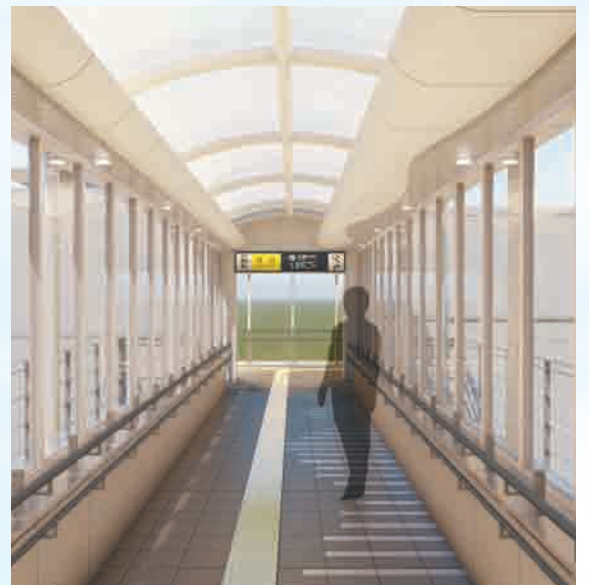
公式LINE

# 早島駅周辺地域交流施設 2026年3月完成



JR早島駅と一体となったにぎわいの拠点施設が令和8年3月に誕生します。

新たにエレベーターを設置してバリアフリー化された早島駅には南口改札が新設され、線路の北と南が屋根付きの自由通路で繋がります。また、町の玄関口である早島駅周辺が賑わいの拠点となるよう、遊具のある広場や、屋内外の交流スペースが設けられています。設置遊具は障がいの有無等に関わらずどんな人でも一緒に楽しめる「インクルーシブ」タイプとなっています。



## ■早島駅周辺地域交流施設の概要

工事期間	令和6年度～令和7年度
敷地面積	3,927㎡
延べ床面積	762㎡
構造	鉄骨造2階建・一部鉄筋コンクリート造平屋建
南北自由通路	延長：17.4m 通路有効幅員：2m
設備等概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>●エレベーター南北各1基(11人乗り)</li> <li>●トイレ(男・女・多目的) (多目的トイレはオストメイト対応)</li> <li>●太陽光発電設備：13.5KWh</li> <li>●北棟屋内交流スペース：100㎡(60.5帖)</li> <li>●南棟屋内交流スペース：65㎡(39帖・防音仕様)</li> </ul>



# 早島町の歴史

吉備の穴海

その昔、早島町は瀬戸内海に浮かぶ  
一つの小さな島でした

- 昭和52年 (1977年) 歴史民俗資料館開館
- 昭和52年 (1977年) 早島中学校の食堂給食施設が完成
- 昭和60年 (1985年) 早島インターチェンジの起工式を挙行
- 昭和61年 (1986年) 県総合流通センター早島地区が完成
- 昭和62年 (1987年) 公共下水道工事に着手
- 昭和62年 (1987年) 早島町役場新庁舎落成
- 昭和63年 (1988年) 瀬戸中央自動車道・JR瀬戸大橋線が開通
- 平成2年 (1990年) 「不老のみち」開通
- 平成3年 (1991年) 大規模総合展示場コンベックス岡山が開館
- 平成5年 (1993年) ふれあいの森公園が開園
- 平成5年 (1993年) いかしの舎が開館
- 平成6年 (1994年) 戸川家記念館が開館
- 平成9年 (1997年) 早島幼稚園本園が新築移転
- 平成9年 (1997年) ニュースポーツ公園、山川池親水公園が完成
- 平成10年 (1998年) 町制施行100周年記念式典
- 平成10年 (1998年) 町民総合会館ゆるびの舎落成記念式典開催
- 平成11年 (1999年) 地域福祉センター完成
- 平成15年 (2003年) 町議会で市町村合併をしない決議を採択
- 平成17年 (2005年) 早島町まちづくり憲章を制定
- 平成21年 (2009年) 宇喜多堤築堤420周年記念事業開催
- 平成21年 (2009年) コミュニティバス運行開始
- 平成22年 (2010年) 観光センター落成
- 平成22年 (2010年) 地域活動支援センター(梅檀の家)落成
- 平成23年 (2011年) 早島中学校武道館落成
- 平成27年 (2015年) 矢尾グラウンド・ゴルフ場オープン
- 平成27年 (2015年) 「教育の町・早島」を宣言
- 令和7年 (2025年) 弁才天排水機場改修完了
- 令和7年 (2025年) 宮山グラウンド芝生化
- 令和8年 (2026年) **町制施行130周年**
- 令和8年 (2026年) 早島駅周辺地域交流施設完成

早島インターチェンジ建設工事(昭和61年撮影)



国道2号岡山バイパス部分開通(昭和45年)



旧役場庁舎(昭和50年代)



町制施行よりもずっと前のおはなし

戦国時代、宇喜多秀家が干潟に築いた堤防「宇喜多堤」  
 (現在の県道倉敷妹尾線)により新たな土地が生まれ、  
 早島は、後の児島湾干拓の先駆けの地となりました。  
 江戸時代には旗本戸川家の陣屋が置かれ、  
 干拓によって開かれた土地には、い草が植えられました。  
 い草で織られた畳表は早島の特産となり全国に出荷されました。  
 江戸後期に金比羅詣出が流行すると、早島を経由する四国への道は  
 金比羅往来と呼ばれ、多くの旅人で賑わいました。



# 130年のあゆみ

- 明治9年 (1876年) 早島村東分・早島村西分・金田村・宮崎村が合併し、早島村が誕生  
妙法寺内に早島小学校が設置される
- 明治22年 (1889年) 町村制が施行され、矢尾村・前潟村・早島村が合併し、早島村になる
- 明治29年 (1896年) 町制が施行され、**早島町が誕生**
- 明治33年 (1900年) 都宇郡・窪屋郡が合併し都窪郡となる
- 明治43年 (1910年) 宇野線が開通し早島駅が設置される
- 大正元年 (1912年) 旧早島町役場落成
- 大正5年 (1916年) 早島紡績創業(後に倉敷紡績と合併)
- 昭和5年 (1930年) 茶屋早島上水道組合結成、翌昭和6年給水開始
- 昭和12年 (1937年) 岡山県い草試験場開場
- 昭和13年 (1938年) 傷痍軍人岡山療養所(現南岡山医療センター)創設
- 昭和23年 (1948年) 早島中学校校舎が建設される
- 昭和31年 (1956年) 町制60周年・早島小学校創立80周年  
両周年を記念して第1回町民運動会が開催される
- 昭和35年 (1960年) 第9回岡山県い草祭が早島町で開催
- 昭和38年 (1963年) 中央公民館を開設
- 昭和45年 (1970年) 国道2号岡山バイパスが町内で部分開通
- 昭和49年 (1974年) 岡山県い草栽培試験場跡地に中央公民館が新設される  
早島町武道館、早島小学校の食堂給食施設が完成



い草田/宮崎(昭和30年ごろ)



JR早島駅宇野線開通(明治43年)



小学校旧校舎(大正13年撮影)

# 小さなまちから 大きな未来へ

## 機能とるおいがバランスした安全なまち



まちなみや都市機能、人口密度や世代の構成に地区ごとの特性があり、町外からの転入やUターンなどの場面で、それぞれの生活スタイルに合わせて新たな住まいを確保できるまち、初めて訪れる人にも分かりやすく、高齢者が安全に歩けるまちを目指します。

**取組** 都市基盤の整備、都市環境の整備、防災対策

## 安心と活力が魅力ある暮らしを支えるまち

公共交通機関を利用して出かけること、駅に近い便利な暮らしを満喫すること、閑静な住宅地から週末ごとに車で出かけることもできる、住環境の豊かなまち、暮らしを支える公共交通が充実し、行き交う人で賑わいの絶えない活発なまちを目指します。



**取組** 公共交通の維持、まちの活性化に向けた拠点整備、良好な住環境の整備

## だれもが支え合い生き生きと過ごせるまち



保育や教育など次世代を育む体制が良好なサービス水準で維持され、世代や境遇による格差が生じないまち、健康づくりのための意識づくり・環境づくりが進み、いつまでも生きがいを持ってはつらつと暮らすために誰もが協力しあえるまちを目指します。

**取組** 健康づくり推進、高齢者の自立支援と健康寿命の増進、子育て支援と環境整備、障がい者の自立支援、最適な包括ケアシステムの構築

## 地域の生活文化を共有し次世代に継承するまち

小・中ともに町内1校という特色をいかした一貫教育の推進により、地域理解と国際理解を軸とした「はやしま学」を推進し、持続可能な「教育のまち・早島」を目指します。学校教育だけでなく住民の中からまちづくりの担い手が育つまちを目指します。



**取組** 教育ビジョンの推進（はやしま学の推進）と学校園の環境整備、社会教育の推進と環境整備、生涯学習・スポーツの振興

## 描いた未来へ手を取り着実に歩むまち



はやしま学や自治会・NPO団体、企業等との協働により、SDGsの視点を踏まえ、世代を超えて人材が育ち活躍するまち、社会情勢の変化を捉え、限られた財源を有効に活かした計画的で透明性の高い行政運営により、持続可能なまちを目指します。

**取組** 民間事業者や近隣自治体との連携強化、町民参加・協働によるまちづくりの推進、デジタル技術の活用による行政手続の効率化・利便性向上、計画的な財政運営と財源確保

# ロゴマーク・キャッチフレーズ・ポスターデザイン

県内外からたくさんのご応募をいただき、厳正な審査の結果、最優秀賞及び優秀賞が決定しました。

## 【ロゴマーク部門】



最優秀賞



星野 圭 様 (静岡県沼津市)

【作品説明】  
まちの魅力を再発見するをコンセプトにデザイン  
130という数字をベースに作成しました。  
※裏表紙に掲載のロゴマーク



優秀賞



青江 千代 様  
(岡山県倉敷市)



金田 昌裕 様  
(大阪府守口市)



歴史ある蔵



町の花サツキ



発見するという意味  
で、虫眼鏡に町章を  
モチーフとしたデザ  
インを入れ込む

## 【ポスター部門】



最優秀賞



戸室 早織 様

(栃木県宇都宮市)

【作品説明】  
早島町の水路によって築かれた  
歴史豊かな景観と、そこに暮らす  
人々が、それぞれのライフスタイル  
にて過ごしている様を描いて  
います。  
水路の流れを表現に取り入れ、  
水が蛇行している中に景観や人  
物を配置する構図に。また、鶴崎  
神社の社殿や蔵づくりの建造物  
など歴史的な景観とインター  
チェンジなどの現代的な建造物  
が入り混じる、早島の「歴史」と  
「未来」を表現。  
※表紙に掲載のポスター



優秀賞



五百歳 三恵子 様  
(岡山県都窪郡早島町)



大出 光一 様  
(宮城県仙台市)

## 【キャッチフレーズ部門】



最優秀賞

「夢紡ぎ  
未来織りなす 早島町」

石畝 秀高 様 (滋賀県高島市)



優秀賞

「好きです  
はやしま130年 これからも」

池永 一広 様 (大阪府高槻市)

「ぎゅぎゅっと早島、130年」

廣田 顕久 様 (岡山県倉敷市)

各作品について  
詳しくはホームページをご覧ください。



※受賞者の方の市区町村は応募時点のものです。



### 早島町まちづくり憲章

豊かな未来をきずくために、『町民総参加のまちづくり』を進めます。  
ふれあいの輪をひろげるために、『地域福祉のまちづくり』を進めます。  
町民が未来に向けて誇れるために、『水と緑の美しいまちづくり』を進めます。  
未来をひらく人づくりのために、『生涯学習のまちづくり』を進めます。  
安全で快適な環境づくりのために、『生活優先のまちづくり』を進めます。



発行：早島町